

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2003-236535(P2003-236535A)

【公開日】平成15年8月26日(2003.8.26)

【出願番号】特願2002-235052(P2002-235052)

【国際特許分類第7版】

C 0 2 F 1/32

B 0 1 D 19/00

C 0 2 F 1/20

C 0 2 F 1/42

C 0 2 F 1/44

C 0 2 F 9/00

【F I】

C 0 2 F 1/32

B 0 1 D 19/00 F

B 0 1 D 19/00 1 0 1

C 0 2 F 1/20 A

C 0 2 F 1/42 A

C 0 2 F 1/44 J

C 0 2 F 9/00 5 0 2 F

C 0 2 F 9/00 5 0 2 J

C 0 2 F 9/00 5 0 2 N

C 0 2 F 9/00 5 0 2 Z

C 0 2 F 9/00 5 0 3 B

C 0 2 F 9/00 5 0 4 B

C 0 2 F 9/00 5 0 4 C

C 0 2 F 9/00 5 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月8日(2005.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

一般的にいえば、本発明で処理対象とする水は、有機質不純物が1 p p b ~ 1 0 p p m、pHが7以上の水である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

本発明に使用される紫外線照射装置としては、主ピークがほぼ185nmにある紫外線を照射可能な低圧あるいは中圧水銀ランプのような紫外線照射装置が用いられる。この紫外線の有機質不純物に対する反応は、有機質不純物の紫外線による直接分解と、ほぼ185nmの紫外線により水から発生したヒドロキシラジカルが酸化剤として有機質不純物に

作用し有機質不純物が酸化分解される間接分解とからなっている。